

このニュースレターは、国土交通省が提案している羽田空港の国際線増便について、地域の皆さまとのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために発行しています。

フェーズ2 説明会

フェーズ2の説明会が 開催されました。



たくさんのご意見が寄せられました

「羽田空港のこれから」の取り組みとして、昨年7月から地域の皆さまとの対話が本格的に始まり、フェーズ1では国際線増便の必要性や期待・実現方策に関する懸念について多くのご意見が寄せられました。12月中旬からのフェーズ2では、フェーズ1で寄せられたご意見から明らかとなった課題に対応するため、提案の背景等についての更なる情報提供やとり得る対策の方向性に関する説明会が首都圏18会場で開催されました。

フェーズ2の説明会では、「どうして羽田空港なのか」、「どうしてこの経路なのか」など提案の背景や、検討された他の様々な選択肢の検証結果などについて、パネルや各種資料に加え、国交省担当者から詳しい情報提供がありました。説明会の会場には、航空機の音や見え方を確認できる体験コーナーが設置され、参加した皆さまからは、実際に体験出来てよかったというご意見とともに、改めて騒音や安全への配慮や具体的な対策を求めるといったご意見も寄せられました。

パネルやFAQ冊子を使って、一人ひとりに詳しい説明がありました



航空機の音の聞こえ方を実感に近い形で体験いただきました



高度や側方距離に応じた航空機の見え方や音の大きさも体験いただきました

「羽田空港のこれから」の取り組みとは？

「羽田空港のこれから」の取り組みとは、首都圏そして地方と諸外国との往來を支える羽田空港の国際線増便のための方策（飛行経路の見直し等）について、幅広く双方向のコミュニケーションを行うための取り組みです。

昨年7月から12月までは、羽田空港の国際線増便の必要性や実現方策

について、また、昨年12月からは、提案の背景や具体的な影響、とり得る対策の方向性等について、説明会や特設ホームページ、電話窓口、ニュースレターなど多様な手法を総合的に組み合わせ、情報提供と意見の聴取が行われています。

提案の背景や影響、対策の方向性等について 更なる情報提供が行われています。

フェーズ1では、羽田空港の国際線増便の必要性や実現方策について議論を進めました。国際線増便への期待とともに、様々な疑問や、騒音や安全性に対する心配の声も寄せられ、羽田空港の国際線増便と環境や安全の両立を図る方策を見出すことが課題として浮き彫りになりました。

フェーズ2では、様々なご指摘やご提案を踏まえ更なる情報提供を行いつ

つ、環境影響に配慮した方策について、様々な可能性を模索し、よりよい方策を検討します。

なお、検討の過程は、今後もニュースレターやホームページ等で情報提供される予定です。

フェーズ1

国際線増便の必要性や実現方策等について情報を提供。皆様の声から課題を整理し共有します。

フェーズ2

提案の背景や具体的な影響、とり得る対策の方向性などをお示し、更にご意見を伺いながら、環境影響に配慮した方策を策定します。

環境影響に 配慮した方策



フェーズ2
説明会

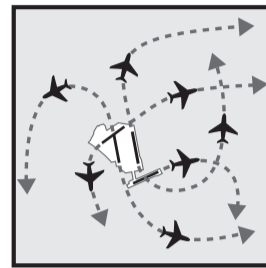
提案の背景や、検討された他の選択肢、影響、対策の方向性等について、更なる情報提供がありました。

フェーズ2の説明会では、これまでのご意見から明らかとなった課題について、更なる情報提供がありました。ここでは、その概要をお伝えします。



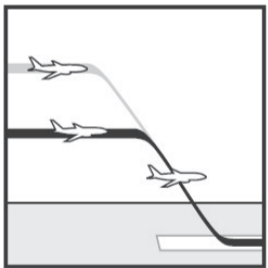
羽田空港で国際線増便が検討されている背景

- 日本の経済・社会を維持・発展させていくためには諸外国との結びつきを深めることが重要であること。
- 羽田空港は、人口の減少のより深刻な地方をネットワークで世界につなぐ、他の空港では代えられない役割を果たしていること。
- 都心に近く、24時間離着陸が可能であり、首都圏にビジネスや優れた知恵を世界から呼び込む役割を果たしていること。
- 成田空港を始め、茨城空港、静岡空港などの首都圏周辺の空港、更には全国の主要空港の活用にも同時に取り組んでいること。



羽田空港での国際線増便の実現方策 (新たな飛行経路を検討している背景)

- 羽田空港の今の運用方法のままではこれ以上の増便に限界があること。
- 仮に新しい滑走路を整備しても、空港周辺等は既に混雑しており、飛行経路の見直しを行わない限り、便数が増えないこと。
- 様々な技術的検証を行った結果、増便のためには滑走路の使い方・飛行経路を見直す以外の方策が見当たらないこと。
- 課題解決には、滑走路やその周辺での経路同士の交錯を減らす必要があり、これに応じた飛行経路を設定することが必要なこと。



飛行経路の見直し等による環境への影響

- 航空機の音などの影響がどのくらい生じるのか、経路の詳細について地域別の情報提供。
- 様々な状況での航空機の音や見え方について、実感に近い形で体感できるコーナー。
- より静かな航空機の使用促進、着陸開始高度の引き上げ等考えられる主な対策の方向性。



安全性について

- 過去の事故や事故につながる可能性のあった事例を分析し、原因を突き止め、それに対して対応策を取ることで安全を確保し、事故発生率を実際に減少させている状況。
- 航空機、地上設備や管制官、パイロット等が相互に連携し、安全に取り組んでいること。
- 様々なシステムにおいて、1つのシステムに不具合が生じても安全な飛行を維持できるような設計がされていること。
- 外国航空機も国際基準を満たしていないものは日本の空港に乗り入れできず、抜き打ちの立ち入り検査も行われていること。
- 落下物についても、原因を明らかにしこれに応じた具体的な対策を行っている状況。



羽田空港と周辺地域の今後の姿

- 羽田空港の国際線増便に伴う空港やアクセス交通の整備のあり方。
- 周辺地域と連携したまちづくりのあり方。



今後の情報提供の内容や方法

- 住民からの相談窓口の設置。
- 飛行や環境モニタリングに関する情報提供のあり方。

フェーズ2でも様々なご意見が寄せられました。

フェーズ2の説明会でも、参加者から多くのご意見が寄せられました。フェーズ1から累計して、既に1万件を超えるご意見が寄せられています。

その中には、フェーズ1と同様のご意見も寄せられましたが、今回行われた更なる情報提供を受け、提案内容の

背景や影響がわかったという声、さらにこれらを踏まえ環境や安全への配慮を求める声や、実施すべき方策についての具体的なご指摘やご提案が寄せられました。現段階で集計を終えたご意見は、別紙で意見要旨（案）として掲載しています。



説明会で配布されたコメントカードでも多くのご意見が寄せられました

実現方策、環境や安全への配慮、対策について様々なご指摘やご意見がありました。

羽田空港の国際線増便を実現する方策として、新たな飛行経路を活用する案が国土交通省から提案されています。この提案に対し、様々なご指摘やご意見がありました。ここでは、フェーズ1を含め、これまでにお伺いしたご指摘やご意見のいくつかを紹介します。

なお、主なご指摘については、よくいただく質問に対する回答集（FAQ）で、関連情報をお知らせしています。



羽田空港の増便は必要でしょうか。それ以外の空港の活用はどうでしょうか？

～羽田空港の役割やそれ以外の空港、交通手段の活用についてのご指摘～

- 成田空港や他空港を活用することはどうか
- 新たな空港を建設することで、飛行経路の見直しを避けることはどうか
- 新幹線やフェリーなど、他の交通機関を活用することはどうか
- 地方空港に国際線が直接就航することはどうか
- そもそも羽田空港で国際線の増便は必要ないのではないか
- 羽田空港の役割は他では代えられない。羽田で国際線を増便することに意味があるのではないか
- など

羽田空港の国際線増便について、他の方法はどうでしょうか？

～滑走路の使い方の工夫など、羽田空港での国際線増便の実現方策についてのご指摘～

- 滑走路を増設することで、経路の見直しを避けられないのか
- 国内線を減らして国際線枠を増やすことはどうか
- 他に良い方策はないかと考えたが、様々な選択肢の比較検証の結果、今回提案以外の選択肢が見当たらないことはわかった
- 都市部の上空を飛ばすべきではないのではないか
- 管制技術などを進歩させ、将来的には飛行経路をさらに見直すことはどうか
- など

環境影響をできるだけ小さくする対策として、どんな対策が必要ですか？

～騒音など周辺地域への影響を少なくするための対策についてのご提案～

- もっと高い高度から降下を開始することでどうか、もう少し急な角度で降下させることはどうか
- より静かな飛行機を使うことはどうか
- 早朝時間帯の飛行について運用を工夫することはどうか
- 現在の経路下地域について、負担を広く分担し、影響をより少なくできないか
- など

二重三重の安全対策が必要ではないですか？

～様々な安全対策についてのご提案～

- 機体や航空従事者、管制・空港の安全策を強化する
- 外国の航空機についても安全対策を徹底する
- 万が一の場合の対応を講じておく
- 落下物への対策強化や万が一の場合の対策を決めておく
- など

アクセスの強化や関連対策を進められますか？

～周辺対策やアクセス強化、地域振興などについてのご提案～

- アクセスを強化して国際線増便や24時間運用への対応を図る
- 増便の効果を地域にも反映できるような地域振興策を行う
- 周辺地域と十分に連携したまちづくりを行う
- など

＜ご意見の整理方法＞

寄せられたご意見は、主張や要望の理由となっている皆さまの関心事に着目して整理しています。少数意見であっても配慮すべき関心事にはしっかり着目する必要があるため、意見数の多寡にとらわれず整理しています。

配慮が必要な点やご期待される点をまとめました。

実現方策に関して、基本的な視点、環境や安全など配慮が必要な点、ご期待の点などを整理しました。これらは、今後の検討に活かされる予定です。



1. 国際線の増便

- ・集中する時間帯への対応、課題の解決
- ・短期的な需要への対応（緊急性等）
- ・羽田空港の将来の発展可能性、長期的な需要への対応

2. 首都圏と地方の活性化

- ・首都圏への効果
- ・地方都市への効果

3. 環境への配慮

- ・新飛行経路下での航空機の騒音の大きさ、頻度への配慮
- ・時間帯に応じた騒音影響への配慮
- ・その他の環境影響への配慮
- ・防音工事

4. 安全性

- ・安全性の確保・向上、事故や落下物の未然防止
- ・セキュリティの確保（テロ対策）

5. その他の影響

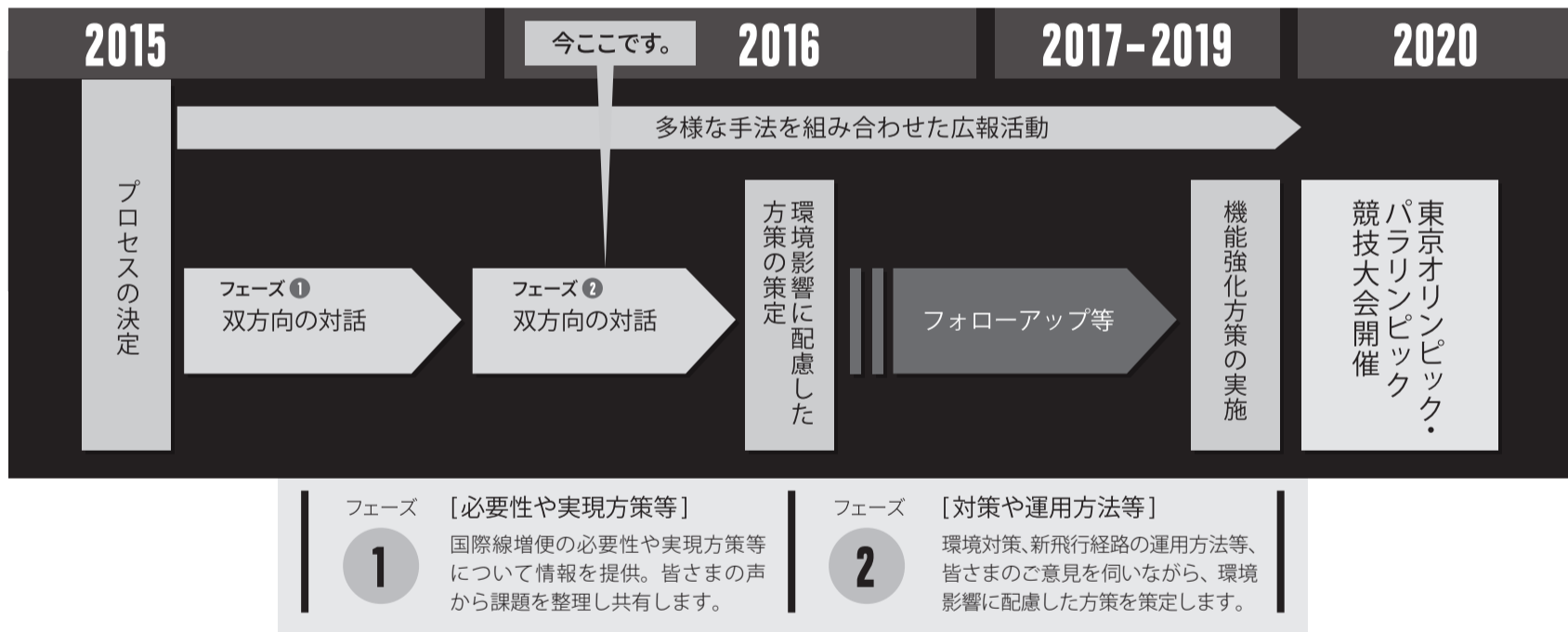
- ・周辺地域への影響

6. 情報提供

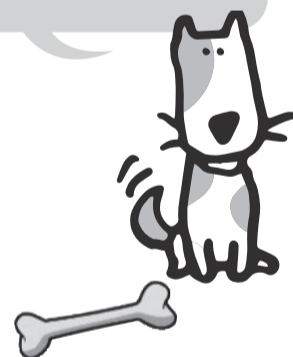
- ・市民相談窓口の充実
- ・飛行や環境モニタリングに関する情報の提供

今後の進め方

今後、皆さまからのご指摘やご意見を踏まえ、また有識者からも意見を聴きつつ平成28年夏までに、実現方策や環境影響に配慮した方策が策定される予定です。その検討状況は随時ニュースレターやホームページ等で共有される予定です。



いろいろな方策案を比較して考えてみましょう。



■ ホームページから

<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから 検索



ご意見フォームから直接投稿できます。



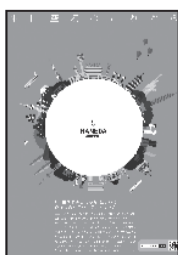
■ 電話でのご意見は Tel 0570-001-160

(IP電話からは、03-5908-2420)

『国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口』
受付時間：平日9:30～18:00



■ ホームページに掲載されているバックナンバー



パンフレット冊子



FAQ 冊子



展示パネル



ニュースレター創刊号



ニュースレター第2号



ニュースレター第3号



ニュースレター第4号

NEW